

彫塑と暮らしの月間



2020
10/3 SAT → 11/3 TUE

写真：1962.8.20 アトリエにて「裕」と妻（撮影：長沼孝三）

見る
聴く
触れる
1ヶ月

彫塑と暮らしについて

事業名 | 彫塑と暮らしの月間

概要 | 芸術と暮らしのつながりをテーマに、展覧会やワークショップなど
6つのイベントで構成される事業

目的 | 本事業を通じて参加者が芸術に親しみ、文化的に豊かな生活を送る一助と
なり、地域における芸術文化活動の発展に寄与すること

期間 | 2020年10月3日（土）～11月3日（火）

休館日 | 月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）

会場 | 文教の杜ながい（丸大扇屋・長沼孝三彫塑館・小桜館）

主催 | 一般財団法人 文教の杜ながい

助成 | 令和2年度山形県地域生涯学習支援事業

◆時間・料金・定員等は事業ごとに異なります。

問い合わせ | 一般財団法人 文教の杜ながい 事業企画担当：後藤拓朗

[住所] 山形県長井市十日町 1 - 11 - 7

[電話] 0238 - 88 - 4151 [FAX] 0238-88-4045

[Mail] bunkyou@e.jan.ne.jp

[Website] <https://bunkyounomori.jimdofree.com>

趣旨

一般財団法人文教の杜ながいでは、地域文化や芸術文化を広く紹介するとともに、活発な生涯学習の場を提供し、魅力ある活力に満ちた地域づくりに寄与することを目的とし、展覧会やワークショップ等の事業を行っています。

この度「彫塑と暮らしの月間」と題し、約1ヶ月にわたり展覧会やワークショップ等で構成される6つのイベント事業を開催いたします。本事業は当財団が運営する県指定重要文化財の丸大扇屋、市指定有形文化財の小桜館（旧西置賜郡役所）、長井市名誉市民である彫刻家・長沼孝三の作品を所蔵する長沼孝三彫塑館の3会場で「芸術と暮らしとのつながり」をテーマに、展覧会や講師を招いた彫塑の技法や鑑賞についての体験会などを開催するものです。

かつて、芸術文化は生活の中に自然に溶け込み親しまれ、特に長井は文化活動が盛んな地域として知られていました。しかし近年は展覧会に足を運んだり、家に作品を飾ったり、自ら制作・発表するなどの文化活動が縮小し、貴重な作品や文化財が維持されず、散逸したり処分されたりするなど、地域が育んできた文化の消失が危惧されるほどの状況にあります。

本事業を通じて参加者が芸術に親しみ、文化的に豊かな生活を送り、地域の芸術文化活動がより発展しますよう、より多くの方に周知いただきたくご案内申し上げます。

開催事業

- 展覧会
1. 長沼孝三と日本文化
- トークショー
2. 彫塑と暮らし
- 展覧会
3. 長井高校写真部とつくる彫塑と写真の展覧会
- ワークショップ
4. 木彫りで小さなスプーンをつくろう
- ワークショップ
5. からだと彫塑のクロッキー会
- ワークショップ
6. 銅の板を叩いてペンダントをつくろう

1. 長沼孝三と日本文化

長沼孝三は西洋彫刻と一線を画する日本独自の造形を追求し、郷土玩具や路端の地蔵、また伝統芸能などの日本文化を参考に作品を制作しました。本展を通じ長沼孝三作品と日本文化の関係について考察し、その創作の秘密を探ります。

日時 | 10月3日(土) - 11月3日(火)

会場 | 丸大扇屋 新座敷 / 入場料 | 無料



長沼孝三

ながぬまこうぞう
彫刻家
長井市名誉市民
1908 - 1993

独自のデザイン的感性に基づいた大胆な単純化や、郷里の自然風土に育まれた慈愛の精神に根ざした造形で知られる彫刻家。

2. 彫塑と暮らし

日本では古くから掛軸や障壁画などが暮らしを飾り、生活に溶け込みながら楽しまれてきました。長沼孝三の生家である丸大扇屋にも多くの美術品が収蔵されており、美術に親しんだ暮らしぶりが伺えます。本企画では日本文化と芸術とのつながりや、これからの芸術と暮らしのあり方について、東北芸術工科大学で教鞭をとる二人の彫刻家にお話を伺います。

日時 | 10月31日(土) 14:00 - 15:30

会場 | 長沼孝三彫塑館

料金 | 無料(東北文化の日)

講師 | 深井聡一郎 氏

吉賀 伸 氏



深井聡一郎

ふかい そういちろう
彫刻家
東北芸術工科大学教授

1973年東京都出身。1999年武蔵野美術大学修士課程造形研究科(彫刻)修了。修士。陶を素材に彫刻を作る。



吉賀 伸

よしかしん
彫刻家
東北芸術工科大学准教授

1976年山口県の萩焼の窯元に生まれる。2003年東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了。2007年五島記念文化賞美術新人賞受賞。

3. 長井高校写真部とつくる彫塑と写真の展覧会

長沼孝三は活動の拠点を東京に置きながらも、常にその心は故郷の長井にありました。本展では、フリーフォトグラファーの船山裕紀氏が講師となり、長井高等学校写真部の生徒たちへのレクチャーを行います。そうして撮影された郷土の風景写真を、長沼孝三彫塑館に所蔵されている小作品の一部と合わせて展示することで、長沼作品の理解を深め、新たな魅力を発見します。

日時 | 10月半ば - 11月3日(火) 観覧料 | 入館料を参照

会場 | 長沼孝三彫塑館

講師 | 船山裕紀 氏

●展覧会の日時はホームページ等でご案内致します。



船山裕紀

ふなやまゆうき
フリーフォトグラファー

山形県出身。2008年に独立しその後フリーフォトグラファーとして活動。東北・北関東を中心にポートレート・建築・食品など広告写真を主に撮影。

4. ワークショップ 木彫りで小さなスプーンをつくろう

長沼孝三は主に粘土やセメントなどの可塑性がある素材を用いた「彫塑」技法によって作品を制作しましたが、修行時代には硬い木材から形を掘り出す「彫刻」技法を用いてレリーフや仏像などを制作していました。このワークショップでは、彫刻技法を用いて暮らしに使える小さなスプーンを制作し、芸術と暮らしのつながりについて体感します。

日時 | 10月11日(日) 定員 | 10名/要申込
13:00 - 16:00 参加費 | 500円(材料費)
会場 | 小桜館 講師 | 矢口哲也 氏

●小学生以下は保護者の方と一緒にご参加ください。



矢口哲也
やぐちてつや
tetteKOBO 主宰

元東北芸術工科大学テキスタイルコース副手で、長井の山の麓にある看板屋さんで働きながら、個人で『tetteKOBO』として店の内装や家具を手がける。

5. ワークショップ からだと彫塑のクロッキー会

長沼孝三が制作した人体像は、その多くが丸みや柔らかさを感じる形態をしています。それは大胆な単純化やデフォルメがなされたことで、西洋的な写実表現とは一線を画す独自の造形表現となったものです。この度のクロッキー会では彫塑とモデルの観察と描画を通じて、長沼孝三の人体解釈や造形の工夫について理解を深め、身近な人体と彫塑表現との関係を考察します。

日時 | 10月18日(日) 定員 | 各6名/要申込
午前の部 10:00 - 12:00 参加費 | 入館料+材料費 200円
午後の部 13:30 - 15:30 講師 | 松崎綾子 氏

会場 | 長沼孝三彫塑館

●小学生以下は保護者の方と一緒にご参加ください。



松崎綾子
まつざきあやこ
日本画家

1983年生まれ。東北芸術工科大学日本画コース卒業。同大学院修士課程修了。2016年より長井市に移り住み、地域に残る伝統文化・伝統工芸について研究。神事、民俗、風俗などに興味を持ち、自身の作品に反映させた平面作品を中心に制作活動を行う。

6. ワークショップ 銅の板を叩いてペンダントをつくろう

長沼孝三は立体的な彫塑作品と並行して、レリーフ作品も多く制作しました。それらは可愛らしく丸みを帯びた造形で人々の生活に馴染み、親しまれています。講師である荒川孝氏による銅板レリーフ作品もまた、柔らかな色調と質感で、見るものに癒やしを与えてくれます。銅板を打ち出して小さなレリーフ状のペンダントを作り、暮らしを彩るためのワークショップです。

日時 | 10月25日(日) 定員 | 10名/要申込
13:00 - 16:30 参加費 | 500円(材料費)
会場 | 小桜館 講師 | 荒川孝氏

●小学生以下は保護者の方と一緒にご参加ください。



荒川孝
あらかわたかし
彫金作家

1942年長井市生まれ。1974年ヒコ・みづのジュエリーカレッジ卒業後、クラフトジュエリーと女性服のオーダーメイド店を開店。会社勤めの傍ら山形県美展・新工芸展・日展などに出品。新工芸会長賞、山形県美展賞など受賞多数。

関連事業

彫塑鑑賞ワークシート「長沼孝三作品のタイトルを考えよう」

「ありうべからざる怪」「何かがおかしい」「話が合わない」など、長沼孝三作品の中でも「怪」の連作は造形もさることながら、その意味深なタイトルにも鑑賞者を惹きつける魅力があります。本事業期間中の来場者に独自の視点から長沼作品のタイトルを考案してもらい、それらを紹介することで作品の多様な見方や新たな側面を発見します。

会場 | 丸大扇屋 新座敷 ●参加者の方には記念品をプレゼント

長沼孝三彫塑館 入館料 (10月31日 [土]、11月1日 [日] を除く)

入館料	大人	中高生	小学生	※10月31日 [土]、11月1日 [日] は 東北文化の日につき入場無料
一般	300円	200円	100円	
団体 (20名以上)	240円	160円	80円	

同時開催

長沼孝三彫塑館第3期展示

収蔵品展 ココロの形

小ケース展 長沼孝三に届いた丑年年賀状

概要 | 作家の思想が表現された「怪」シリーズや、季節感のある彫塑作品を展示

会場 | 長沼孝三彫塑館

丸大扇屋企画展

暮らしを彩る 日本画家・池田秧青展

概要 | 長井出身の日本画家・池田秧青による、掛軸や屏風などを展示

会場 | 丸大扇屋 内蔵・新蔵

問い合わせ | 一般財団法人 文教の杜ながい 事業企画担当：後藤拓朗

[住所] 山形県長井市十日町 1 - 11 - 7

[電話] 0238 - 88 - 4151 [FAX] 0238-88-4045

[Mail] bunkyou@e.jan.ne.jp

[Website] <https://bunkyounomori.jimdofree.com>